



緑の風



50年前の野球部



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
 ~“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校~



11月1日は横堀小学校の145回目の誕生日！

5年生の教室の隣には、横堀小学校の歴史がわかる部屋、「みどりの間」があります。そこには、明治の頃の教科書や、〇〇周年記念誌、昭和5年の学級写真や卒業アルバムなどがたくさんあります。

その中の昭和11年12月に発行された「横堀小学校 創立60周年記念誌」を見ると、始めの文にこう書かれています、

我が横堀小学校は明治9年9月1日、板見内小学校の創立にかかり、
 本年は創立60周年に相当する・・・

ここから145歳という計算になります。では、なぜ11月1日が開校記念日なの？という疑問が残ります。そこで、昭和51年に発行された「北小百年間の歩み」の中にある年表の中から、その答えを見つけました。

明治30年11月1日
 横堀、板見内、堀見内の3小学校が統合して、横堀尋常小学校を創立

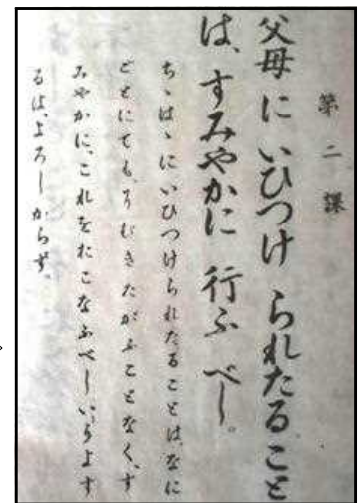
その後は、戦争や様々な法律の改定、市町村の合併などにより、いろいろと学校の名前も変わっていきました、

昭和16年	「横堀国民学校」
昭和22年	「横堀村立横堀小学校」
昭和30年	「仙北村立横堀小学校」
昭和39年	「仙北村立仙北小学校」
昭和40年	「仙北村立北小学校」
昭和49年	「仙北町立北小学校」
平成17年	「大仙市立横堀小学校」



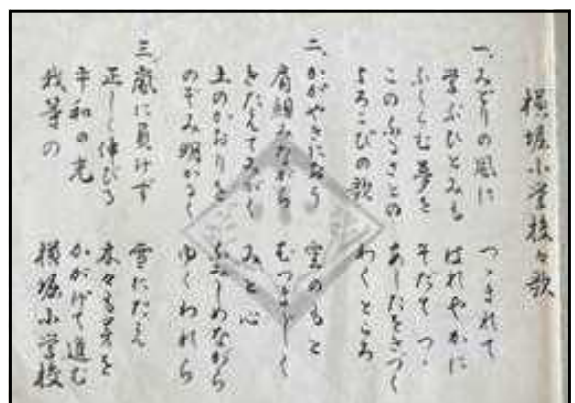
高学年は、男女別々だった時代もありました。

明治24年の「国民修身書」今の道徳のような勉強です。



【イロイロナ問題】
 (1) 石井君ノ學校ニ、雨天體操場ガ
 タチマシタ。縦ガ二十七米、横ガ十八
 米デ、建築費ハ六萬五千六百十圓ダツ
 タサウデス。一平方米ニ、平均幾ラカ
 カツタコトニナルデセウ。

昭和14年の4年生「算術」の問題です。皆さん、解けますか？



昭和35年の卒業アルバムの中の校歌。ちよっぴり違うようです。わかるかな？

大仙市教育委員会 教育アドバイザーの学校訪問

小笠原晃教育アドバイザーによる、今年度2回目の学校への訪問でした。
アドバイザーは、どの教室でも笑顔で、子どもたちの勉強の様子を楽しく参観されて、次のような感想をお話してくれました。

- 子どもと子どもの関係、先生と子どもとの関係がとても温かくて、明るい。
- 全ての子どもたちが、担任の先生の発言や友だちの発表に注目していて、その時間の勉強に集中できている。
- 学びの流れが分かっていて、グループになることも自然にできる。「自分で考えて、友だちと交流して学び合う」という授業のスタイルが、どの学年でもできている。

私も一緒に七つの学級の授業を見ましたが、全校みんなで「“楽笑”な授業」ができていました。先生も子どもたちもリラックスしていて、楽しく学ぶ姿がカッコよかったです。



先生方が勉強し合う「ちょこっと参観」第1弾は 2年生「道徳の時間」の勉強



今年度は、2度計画されている、先生方による授業を見合う会である「ちょこっと参観」が、1番若い大地先生からスタートしました。

来週の2日（火）に指導主事訪問で「道徳」の授業を見てもらいます。『心を育てる学校』の具体的な場面である道徳の時間は、子どもたちの心の栄養を蓄える時間となっています。

春から比較にならないほどの『超立派な学習態度！』に“感動”しました！話す人の方を全員が「全集中」できていました。それから、「聞く力」や「書く力」もぐ〜んと成長しています。



「自分から“楽笑”なあいさつ」
できる人がだんだん増えています。
みんなでできる学級も！